

動く対象物に素早く追従するプロジェクションマッピング

様々な模様の対象物への素早い追従を、装置位置合わせを必要とせず実現可能

効果

- ▶2次元、3次元で様々な模様を持ち、且つ素早く動く対象物に対し、任意の動画が追従するようプロジェクションすることが可能
- ▶プロジェクタとカメラの配置について、自由度を確保することができ、システム設計の自由度も向上

<動画URL> ※下記をクリックしますと動画がご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=HUhL2bjoiJw>

背景

従来技術は、あらかじめプロジェクタとカメラの位置合わせを精密に行っておく必要があったり、または対象となる物体表面(背景)が無地であって且つ投影コンテンツが画像追跡に適したものであることを要する等、素早く正確な追従を実現するには様々な制約があった。

特許データシート

関連特許番号(整理番号)：JP2019-156876 (T19-017)

発明者：鏡 慎吾

応用例

分野	例
生産ライン	生産ライン上の対象物に投影することで作業指示や部品位置を確認することが可能
広告	移動体へのデジタルサイネージが可能
自動車	フロントガラス等への投影でのナビゲーション
ドローン	移動体に搭載したプロジェクタでずれない投影が可能
監視	空港などでの特定人物への投影

等

連絡先

株式会社 東北テクノアーチ

TEL 022-222-3049

FAX 022-222-3419

問い合わせは[こちら](#)からお願いします。